

『パズルで解く世界の言語——言語学オリンピックへの招待』

変更箇所

(2023年7月31日)

『パズルで解く世界の言語——言語学オリンピックへの招待』初刷について、より明快な解き筋にするために第2刷より以下の変更を行います。

■問題3 アラビア語

※正答以外の解き筋が考えられる状態でした。8. ?iflām のような誤答が出るのを避けるため、「qalam ペン」を「burj 塔」に変更します。

p. 4 問題

1. qalamayn 2本のペン > burjayn 2つの塔
2. ?aqlām 複数のペン > ?abrāj 複数の塔
7. 1本のペン > 1つの塔

p. 55 解答

7. burj

p. 55-56

解説で再掲される用例も上記に合わせて変更する。

■問題10 古英語

※正答以外の解き筋が考えられる状態でした(sがrになるのが、すべての母音の後で起こるのか ēa の後だけで起こるのかが決定できない)。ēa 以外の母音の例を出すため、以下のように変更します。

p. 11 問題

3. hæl の例を læs 「私/彼は集めた」 lære 「君は集めた」 に変更。

p. 63-64 解説

- ・63 ページ下から5行目の例3を「læs - lære」に変更。
- ・64 ページ上から1行目「また、」の直後に「3. læs - lære、」を追加。

■問題18 ラテン語

※liberare 「解放する」という動詞は、「人」から解放する場合、通常その「人」の前に a と

いう前置詞をつけます（母音や h あるいは子音の i などの前では ab）。「物」から解放する場合は前置詞をつけない用法もあります。修正前でも問題を解くのに支障はありませんが、自然な用例にするため、下記のように変更します。

用例に関してメールでご指摘くださったラテン語さん（Twitter ID: @latina_sama），ありがとうございました。

p.19 問題

4. **ab Aemiliā** liberāvī. 私が**アエミリア**から解放した。

※「ユーリア」「**アエミリア**」は人名です。

7. caniculam **ab Iūliā** liberāvit filia.

p.76~77

解説内で再掲される 4, 7 の用例は上記の変更に合わせる。

p. 78

7. canicul-am **ab Iūli-ā** liberāv-it fili-a.

子犬-を **から** ユーリア-から 解放した-3人称が 娘-が

※下記の問題では誤植がありました。お詫びして訂正いたします。修正は第2刷より反映されます。

■問題 26 フィンランド語

p. 28

Aki tuli kylään, jossa Lumi asuu, nähdäkseen **Pekan**.

p. 92

解説内で再掲される用例は上記の変更に合わせる。

■問題 40 ハワイ語

p.126 解答, p.127 図

Keōpūolani